

今回は平成 22 年度の予算決算議会で、22 年度の決算の質問を常任委員会でした。
 平成 22 年度の予算決算の執行及び事業の結果についての質問をしました。
 特に市の財政に大きな影響をもたらしている、税の滞納状況についての現状及び今後の対策について
 ご説明します。

平成 22 年度決算 債権未収額

単位：(円)

市税	介護保険料	国民健康保険料	保育料	児童措置費
4,632,240,990	133,294,871	2,521,761,301	118,820,700	2,388,114
廃棄物処理手数料等	市営住宅家賃等	道路占用料	公園墓地管理料	係留施設使用料
10,954,821	197,297,082	222,100	3,093,910	2,674,744
合計				7,622,748,633

どの項目に関しても、多額の税金が未回収・滞納繰越分になっており、市が立てた滞納金の回収率に対する達成率も下回る結果になっているものが多く見られます。

その対応策として平成 23 年度は市税納付推進センターを設置、10 月より可動しました。

この市税納付推進センターは、現年度の未納の方に電話で案内をして納付を促し収納率を上げるため外部委託により設置されました。今年度の目標は約 6 千万円の収入を見込んでいます。

繰り越し滞納金については、市の職員が収納率を上げるためにしっかりとした計画を持って個別に対応していますが、大変難しい状況です。税の平等、及び財政の健全化を考えると収納率の向上に市全体で取り組まなくてはいけないのですが、多額の滞納の大きな要因の一つとして経済状況の悪化があげられます。

人口減少、企業収益の減少、社会保障費の増大、など勿論、横須賀市も対策として、人口増、企業誘致、観光集客促進、などに取り組んでいます。今後の横須賀市の財政状況の改善は急務であり、その結果が行政サービスに大きく影響することは間違いありません。

私も地域経済の活性化のために今後いろいろな角度からアイデアを提案していきます。

行政、議会が協力をして、財政、経済、教育、福祉など多くの問題に一丸となって取り組み、安心、安全、そして豊かな街にしないといけないと思います。また、市民の皆様の貴重な意見を聞かせて頂きたいと思いますのでお寄せください。

大野忠之、市政に関するご期待・ご要望・ご意見などをお寄せ下さい。 FAX : 046-838-6573

.....

.....

.....

.....

.....

.....

ご氏名 _____

ご連絡先 _____